

2022年11月18日

各 位

普通鋼電炉工業会

「2022年 電炉鋼材フォーラム」オンライン開催のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

普通鋼電炉会社は、鉄スクラップを電気炉により溶解・圧延し、鉄筋、形鋼、平鋼等の電炉鋼材を生産しております。電炉鋼材は建設分野を中心に幅広く使用されており、また今日、環境・資源循環等の観点からも鉄のリサイクルによって生まれる電炉鋼材への関心は日々高まっております。

そのような中、当工業会では例年、官公庁・自治体・建設会社・設計会社・鉄骨加工・鉄筋加工・流通・教育研究関係をはじめとするユーザーの方々をお招きし、電炉鋼材の生産技術、鋼材使用の動向、電炉業をめぐる動きについての情報発信を行うべく、「電炉鋼材フォーラム」を開催して参りました(※)。

本2022年度につきましては昨年に引き続き、遠隔地参加者の便宜等も踏まえたオンライン聴講とさせて頂きますが、今年度は下記のとおり、講師ならびに一部対面聴講者十数名による講演会の様子をリアルタイムでライブ配信する方式を新たに採用させて頂きます。また、ライブでのオンライン聴講に参加できなかった方のため、後日別途1ヶ月程度の期間を設けて録画配信も行います。

つきましては、下記要領により各位のオンラインご参加を賜れますようご案内申し上げます。

※ 2019年度までは全国各地で対面開催、2020年度はコロナ感染症影響で見送り、2021年度はオンラインによる録画配信のみでの開催。

敬具

記

1. ライブ配信日時 : 2022年12月16日(金)13:30~15:00

録画配信期間 : 2022年12月23日(金)~2023年2月3日(金)

※ 録画配信期間中は24時間常時視聴可能です。なお繰り返し再生は可能ですが、本動画の録音・録画、SNSへの転載等は固くお断わりいたします。

2. 開催方法 : ライブ配信、録画配信とも、配信ツールはVimeoを使用します。視聴には、インターネット接続しているPC、タブレット、スマホ等が必要です。

3. 内容 : 別添「2022年電炉鋼材フォーラム プログラム」をご覧ください。

4. 参加費 : 無料 (オンラインによる事前登録が必要です)

5. 申込方法 : ライブ配信、録画配信とも、聴講希望者は、11月24日(木)～12月15日(木)に下記URLに掲載される事前登録用フォームへ必要事項をご入力ください。お申込みいただいた方には、「自動返信メール」(Eメール)にて参加方法等の詳細をご連絡いたします。

※ 「自動返信メール」が、貴社メールシステムにより迷惑メール等と判断される可能性がありますので、関連フォルダーもご確認願います。それでも届いていない場合は、下記「6. お問い合わせ」先までご連絡ください。

【事前登録用フォームURL】 (登録用フォームは11月24日以降アップされます。)

https://fudenkou-forum.com/forum_02.php

6. お問い合わせ : 普通鋼電炉工業会

TEL 03-5640-1122 Eメール fudenkou@jjsf.or.jp

(〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3-2-10 鉄鋼会館3階)

* 個人情報の取扱いについては本フォーラム以外の目的には使用いたしません。

以上

2022 年電炉鋼材フォーラム

主催 普通鋼電炉工業会

開催日時：2022 年 12 月 16 日(金)13:30～15:00 (ライブ配信)

録画配信：2022 年 12 月 23 日(金)～2023 年 2 月 3 日(金) (24 時間常時視聴可)

《プログラム》

*普通鋼電炉工業会 TEL 03-5640-1122 FAX 03-5640-1125 <普電工 ホームページ <http://www.fudenkou.jp>>

コンテンツ	時間割
<p>開会挨拶 (約 5 分) 普通鋼電炉工業会 品質管理委員会委員長 上道 雅丈 (共英製鋼(株) 執行役員 本社生産企画部長)</p>	13 : 30 ~ 13 : 35
<p>PR動画：DENRO～循環型社会の未来へ～ (約 10 分)</p>	13 : 35 ~ 13 : 45
<p>最近の電炉鋼材の概況 (プレゼン 約 15 分) 普通鋼電炉工業会 品質管理委員会</p> <p>電炉業は、原料として市中や各種工場から発生するリターンスクラップを活用し、建設用の鉄筋棒鋼、形鋼、H形鋼、平鋼等を製造するリサイクル産業です。鉄鋼備蓄の進んだ我が国にとって、社会的・経済的意義の高い産業と言えましょう。当工業会からのプレゼンテーションとあわせ、電炉業の紹介動画を上映いたします。</p>	13 : 45 ~ 14 : 00
<p>講演 「国際標準の動向と政策展開について」 (講演 約 45 分+質疑 約 15 分) 経済産業省 国際標準課 課長補佐 田中 健人 殿</p> <p>カーボンニュートラル や デジタル、SDGs など、社会ニーズや産業構造の急速な変化を背景として、「国際標準というグローバルルールを獲得する(変える)ことで、市場で売れる商品及び仕様が決まる」という状況になりつつあります。標準化活動が、マーケット獲得戦略そのものへと拡大しつつある中、国際標準を巡る動向と、経済産業省の標準化政策についてご紹介します。</p>	14 : 00 ~ 15 : 00 (終了)